

### 堀川高(京都)に生徒派遣 佐々木杯コンテスト実施 —役員会で菊谷校長—

平成二十年  
度第二回役員  
会は、十一月

十四日(月)  
午後五時から  
秋田市のシャ  
インプラザ平  
安閣において  
開催された。

出席者は豊  
口祐一会長以  
下副会長、監  
事、参与、常  
置委員会委員  
長、事務局長、  
事務局の十三名であった。

挨拶に続き、報告があり、  
次いで議事に入った。概要は

次の通りである。  
**一、あいさつ**

豊口祐一 会長  
会長就任後初めての役員会  
となる。就任後九月から県内  
外の同窓会に出席したが皆さ  
ん素晴らしい方々だった。頑  
張っていきたいと思っている。

菊谷 一 校長  
体育館工事が遅れている。  
北棟は十二月に工事が完了し  
その後小体育館の補強工事に  
入る。今年度高校生を他校に  
派遣する事業が実施されてお  
り本校からは十二名が参加し  
来週、京都堀川高校で授業を  
受けることになっている。ま  
た、後期総合学習でディスカ

ッション、プレゼン能力を高  
めるために佐々木毅杯をかけ  
たコンテストを行った。

### 二、報告

①会務事業報告・後期事業  
日程について  
仙波昭彦事務局長から十  
一月十四日までの会務事業  
報告と十月からの後期事業  
日程説明がなされた。

②常置委員会報告(各委員長)  
・企画委員会(佐々木博良)  
当番年次は五と六のつく  
学年(昭三十五、平三)  
入会式・同窓会活動の活  
発化について等

・当番年次の会(同)入会  
式・激励者の選考・「同  
窓会だより」協賛広告に  
ついて等  
・財政委員会(速水洋子)  
二十一年度一般会計予算  
(案)・収入増加策の具体  
化について等  
・名簿委員会(工藤雄一)  
名簿状況報告・名簿三十  
九号発行について等  
・広報委員会(高島清子)  
「同窓会だより」八十四  
号は二十一年一月十五日  
発行予定等

### 三、議事

①平成二十年度収支中間報告  
書(各会計の中間報告)  
②平成二十一年度同窓会運営  
上の諸問題

## “辻先輩さようなら”



縁あって副会長として四年  
八か月、会長代行二か月、平  
成二十年八月十七日の総会で  
昭和三十四年卒豊口副会長が  
新会長に選任され、これまで  
の副会長は留任、新しく三浦

氏が副会長に選任されました。  
私は秋田中学に昭和十六年  
四月に入學しました。手形の  
校舎では剣道・柔道場は同一  
棟板戸で仕切られ、隣の柔道  
場からの三年生辻良一氏の大  
きな気合いを耳にしながらか  
道部一年生の私は稽古した思  
い出があります。戦後秋田高  
校にお世話になり創立八十周  
年・九十周年・百周年記念各  
行事等を教職員として体験、  
昭和四十年後半〜五十年前半  
はPTA会長の辻氏と校務上

連絡の機会が多く特に昭和五  
十年代後半からは同窓会副会  
長となられた辻氏とはお会い  
する機会が増えいろいろご指  
導を受けました。平成十五年  
十月、百三十周年記念行事終  
了後の総会で辻氏が会長に  
就任し「同窓会だより」で  
の挨拶文に、平成六年の会則  
改正(全員会費制等)につい  
て詳細に説明されておりまし  
た。これは秋高OBで経済界  
の名士として長年母校の各種  
行事等に協力されてこられた  
“思い”を述べられたものと  
感じました。現役の実業人、  
文化・スポーツ・各種団体の

要職に関係されておられた超  
多忙な辻会長でしたが、同窓  
会支部等の集まりには事情の  
許す限り出席されるので、私  
はこのことは「会長としての  
執念」と感じておりました。  
秋田高校同窓会の財政につい  
てはいろいろな面でご配慮を  
頂きましたが、今度のご病氣  
の時も平成十九年度会費納入  
者数が前年度より増加したこ  
とを本心に心から喜んでおら  
れました。辻さんのご冥福を  
心からお祈りします。

昭和二十年(四年)卒

副会長 山谷 浩二

## 天上天下

地球に衝突する可能性のある物体は「地球近傍小天体」(NEO)と呼ばれ、これまでに約四百個発見されているらしいが、正確な実態の把握には到っていないという。この十五年以内で地球に最も接近したNEOは、「一九九四XM1」と名付けられた小天体で、これは地球から十五万五千キロのところを掠め過ぎていく。地球と月の間の三分の一以下の距離だから、大宇宙のなかではほとんど衝突と同じと言ってもよいのかもしれない。▼全米天文学協会は、西暦二〇二八年十月二十六日の午後五時三十分、直径一・五キロの小惑星が地球に大接近すると予想している。直接衝突する可能性は小さいようだが、地球の周りの人工天体は現在よりもさらに多くなっているだろうから、何らかの影響はあるのかもしれない。▼六千万年前、地球上を跋扈していた巨大な恐竜たちは一個の小天体の衝突によって全滅に追い込まれた。人類がどのような形で衰亡していくのか想像はつかないが、少なくとも、自分の手で自分を滅ぼしてしまうような愚だけは絶対に避けたいものである。